

平成 28（2016）年さけます来遊状況（第 2 報：9/30 現在）

4 サケ年齢組成と体サイズ

国立研究開発法人水産研究・教育機構
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 北海道の 9 月末時点での年齢別来遊数を推定すると、5 年魚（2011 年級）は前年を上回るが 4 年魚（2012 年級）は減少
- 4 年魚（2012 年級）は 1994 年以降一番少ない
- 北海道のサケの平均重量は 3.51kg で、前年同期と同水準

・サケの年齢組成

北海道の河川に回帰したサケの年齢査定途中経過をもとに、9 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、5 年魚（2011 年級）が全体の 72%と最も多く、次に 4 年魚（2012 年級）が 24%を占めました。5 年魚は前年同期の 129%と前年を上回っていますが、4 年魚は前年同期の 28%と減少しています。1994 年以降の平均との比較では、それぞれ 81%と 32%となっており、4 年魚は 1994 年以降で一番少ない状況です（図 1）。

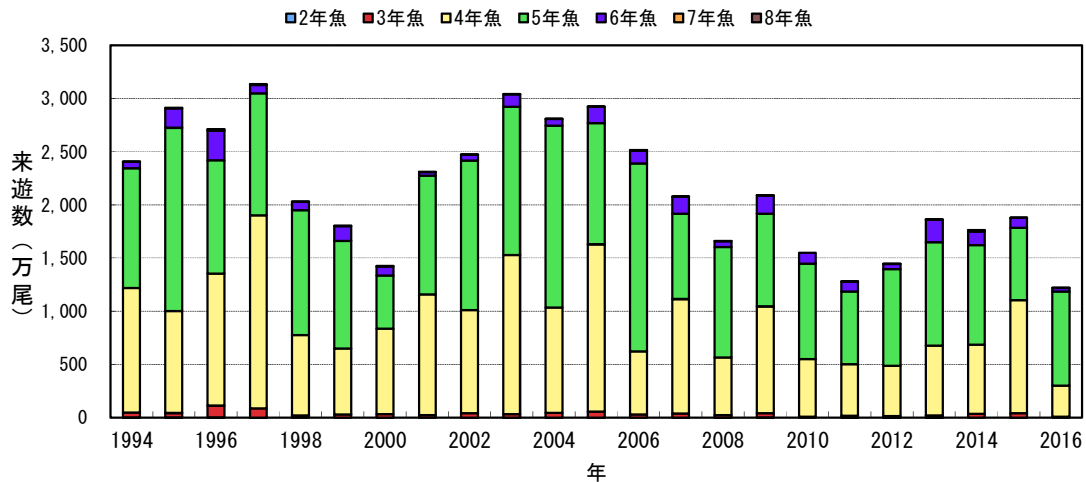


図 1. 9 月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道）.

年級群（生まれ年）ごとの来遊数をみると、今年の 4 年魚である 2012 年級は、4 年魚までの来遊数（2～4 年魚の来遊数）で比べた場合、1992 年級以降では一番少なくなっています。一方 5 年魚である 2011 年級は、1992 年級以降では平均的な水準となっています（図 2）。

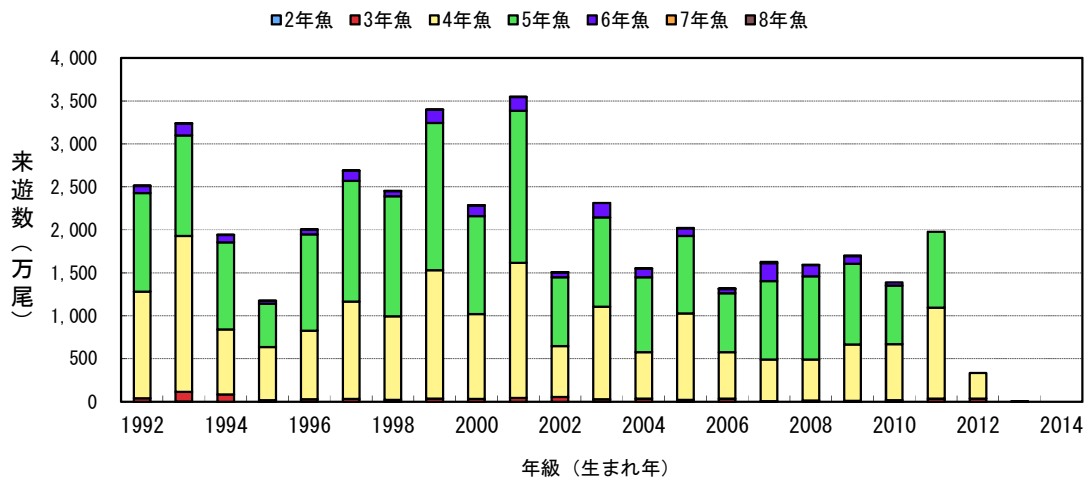


図 2. 9 月末時点のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（北海道）.

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、5年魚が前年同期の115%、1994年以降の平均の54%の水準ですが、4年魚は前年同期の23%、1994年以降の平均の22%と1994年以降では一番少なくなっています（図3）。日本海側（オホーツク海区及び日本海区）では、5年魚は前年同期の138%、1994年以降の平均の107%の水準となっていますが、4年魚は前年同期の31%、1994年以降の平均の43%と1994年以降では一番少なくなっており（図4）、両地域とも5年魚は前年を上回っているものの、4年魚は前年を大きく下回っています。

なお、サケの年齢組成は来遊時期の初めの頃には高齢魚（5年魚）の割合が高く、シーズンが進むにつれて3年魚や4年魚の割合が高くなる傾向があるため、今後の4年魚の出現状況を注意深く見ていく必要があります。

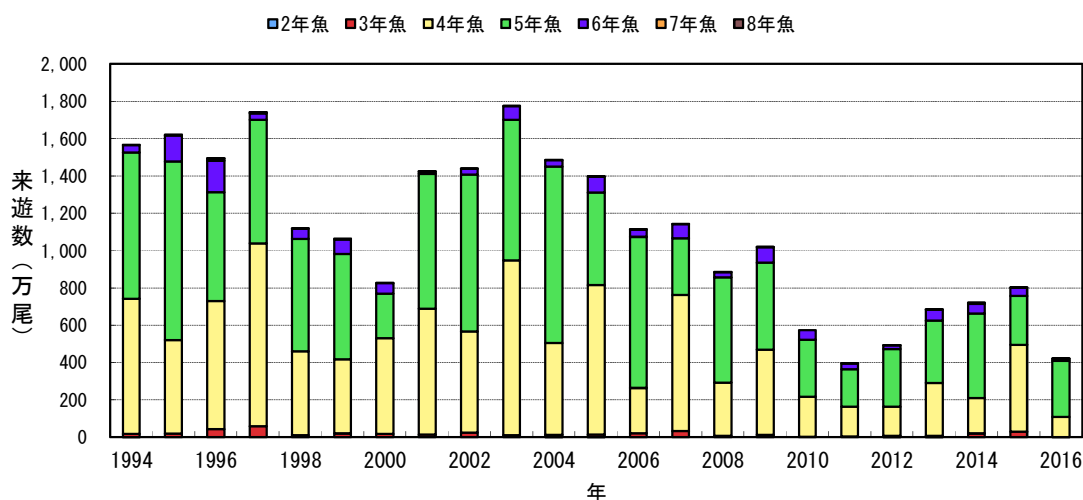


図3. 9月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）.

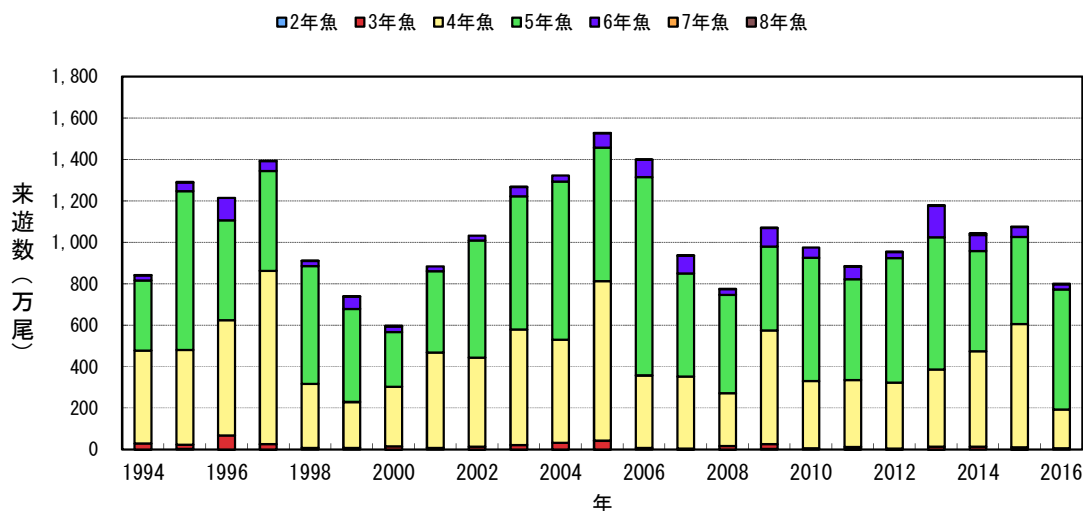


図4. 9月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）.

・サケの体サイズ

北海道における9月30日現在のサケ1尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は3.51kgであり、これは前年同期の99%に相当します（図5）。

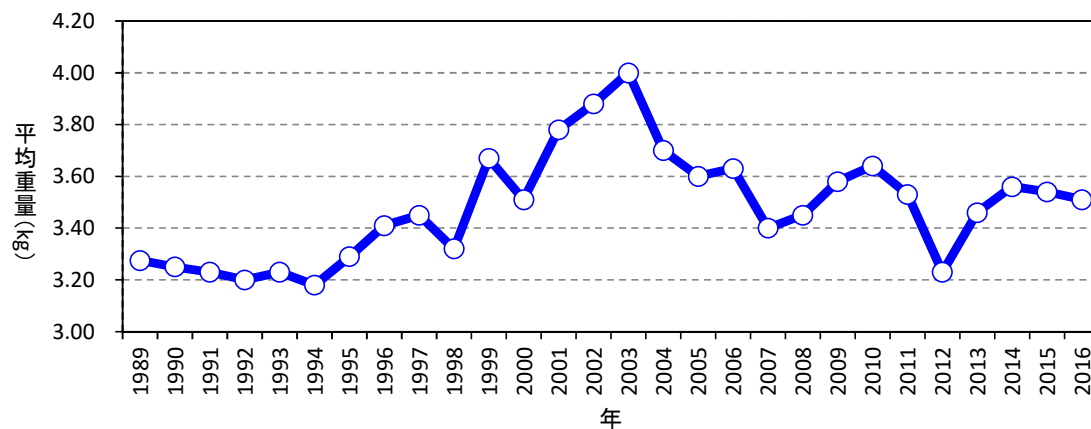


図5. 9月末時点のサケ平均重量（北海道）。